地球にちょこっとえーこと発信！ えこっと OSAKA

VOL.72
2024 SPRING

マスコットキャラクター「えこたま」

「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしを**ちょこっと**（少し）だけ、**えーこと**（良いこと：やさしい）、**エコロジカルにしよう**と、大阪言葉を交えた意味を込めています。

みどり公社HPにアクセス！

編集・発行／大阪府地球温暖化防止活動推進センター
〒541－0054　大阪市中央区南本町2－1－8 一般財団法人大阪府みどり公社
TEL.06－6266－1271　FAX.06－6266－8665　http://osaka-midori.jp/
編集協力・印刷／株式会社ウイルハーツ
〒564－0053　大阪府吹田市江の木町17-1 コンパーノビル 2F
TEL.06－6378－9500　FAX.06－6378－9550　http://www.w-hearts.jp/
VEGETABLE OIL INK
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

第11回 大阪府地球温暖化防止活動推進員研修会

地球温暖化防止活動推進員

令和6年1月31日（水）大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）において、第11期大阪府地球温暖化防止活動推進員研修会が行われました。

この研修会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、大阪府知事が委嘱をした「大阪府地球温暖化防止活動推進員」に対し、最新の情報を提供するとともに推進員同士の活動の交流を目的とした研修会です。

コロナ禍の影響で、対面での研修となるのは約2年ぶり。今回は座学ののちに推進員の活動事例報告とグループに分かれてのディスカッションという流れでした。

事例紹介

事例報告は2件の発表があり、住宅メーカー（株式会社イムラ）で営業をされている推進員の坂口大輔氏からは、住宅における温暖化対策の事例が紹介されました。

同社は、吉野杉や吉野檜をふんだんに使った木造住宅でかつ年間のエネルギー消費量が実質ゼロのZEH住宅の販売に力を入れられています。

ZEH住宅とは、壁や窓などの断熱性能を向上させるとともに高効率な住宅設備を導入することで消費エネルギーを抑えながら、太陽光発電等の再生可能エネルギーを導入し、CO_2排出を実質ゼロにするものです。ZEH住宅は環境だけでなく、住んでいる人にとっても快適なもので、「生活を我慢せず、快適に過ごせる家」をこれからも勧めていくとのことでした。

次に大阪eco動物海洋専門学校の学生推進員からは、昨年10月から4か月間にわたり、泉大津市の就学前施設で行われた幼児環境教育についての発表がありました。

実施された4か月間で16園所、523名の園児に授業を行ったそうです。

大阪eco動物海洋専門学校の発表のようす

このプロジェクトは、学生たちが学校で学んだ海洋生物の生態と海洋ごみ問題を分かりやすく園児たちに伝え、保護者らとともに解決に向けて取り組むことを目的に行ったプロジェクトでした。園児が興味関心を示す企画を考え教材を作成することに多くの時間を割き、劇やゲーム、○×クイズ、音楽など、目にも耳にも楽しい授業になるよう様々な工夫がされています。この取組みは園児だけではなく、先生にも好評で、当初理解度90%以上を目標としていましたが、最終的には94%以上の理解度となるなど、目標を大きく上回る結果となりました。

若い世代が興味を持つ地球のこれから

今回の事例紹介、その後に行われたディスカッションにおいても若い方が環境問題に興味を持っている、またそれをさらに若い世代に引き継いでいっている様子が伝わってきました。省エネやエコは「我慢しなければならない」と考えてしまうこともあるかもしれません。しかし、今はそんなことはなく、いかにして生活を豊かにしつつ環境問題を解決していくかという努力がされています。

これからの推進員の皆さんのさらなるご活躍を期待しています。

お詫びと訂正　71号1ページ目2段落目の4行目の表記に誤りがありました。読者の皆様および関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。
誤「アメリカが1,750億ドル（25.9億円）」　正「アメリカが1,750万ドル（25.9億円）」

おおさか気候変動「適応」ハンドブック 改訂版 が完成しました!!

地球温暖化に伴う気候変動による影響は、農林水産業や自然災害、健康など、私たちの日常生活と密接に関係する様々な分野において現れると予想されています。その影響による被害を回避し、又は和らげ、あるいはこれを有益な機会として活かしていこうという考え方が「適応」です。

大阪府では、「適応」という考え方を普及し、府民の実践につなげていくため、このたび、『おおさか気候変動「適応」ハンドブック』を改訂しました。

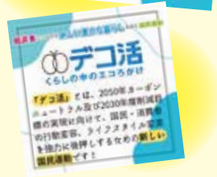
気候変動の影響に備えるとともに、今後の地球温暖化対策を進めるため、ぜひご覧ください。また、地域での勉強会などの際にも、ぜひご活用ください!

お問い合わせ先
環境農林水産部　脱炭素・エネルギー政策課　気候変動緩和・適応策推進グループ
電話番号:06-6210-9553(直通)　**ファクシミリ番号:**06-6210-9259
メールアドレス:eneseisaku-03@gbox.pref.osaka.lg.jp

センター公式 Instagram

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

デコ活ってな～に？



デコ活とは、2050年カーボンニュートラルや2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容やライフスタイル変革を促進する国民運動です。デコ活の推進を通じて、「新しい豊かな暮らし」と、その先にある「脱炭素目標の達成」を実現しましょう!!

センター公式 Instagram
詳しくはこちらのQRコードからHPをご覧ください

2024年4月▶7月 大阪府民の森 ちはや園地 イベント情報

イベント担当／（一財）大阪府みどり公社　森林緑地チーム
TEL.06-6266-1038　FAX.06-6266-8665　mail:ryokka@osaka-midori.jp

金剛山 山の春まつり
・野外コンサート
・地元産出店、山頂マルシェ、ピザづくり等
・ダイヤモンドトレールPRブース 天体写真展
【期間】4月14日（日）
【時間】10：00～15：00
【集合】ちはや園地
【料金】無料

星空観察会
ミュージアム星見台で大型天体望遠鏡を使っての天体観察
【期間】年10回（月1～2回程度、12月～2月は無し）
【時間】19：30～21：00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】800円
【定員】30名

ガイドウォーク
ちはや園地内定例の自然観察会
【期間】毎月第1、第3日曜
【時間】AM:11：00～12：00
PM:13：00～14：00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】100円
【定員】20名

山麓スターウォッチング
金剛登山道駐車場で日帰りの星空観察会
【期間】4月20日（土）、5月3日（金祝）、25日（土）
【時間】19：30～21：00
【集合】金剛登山道駐車場
【料金】700円
【定員】30名

はじめよう! バードウォッチング(春)
初心者を対象に、講座とちはや園地内での野鳥観察
【期間】5月4日（土祝）
【時間】10：00～12：45
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】500円
【定員】30名

カラフルコースターづくり
木製コースターに野鳥や野の花などの色付けを体験
【期間】7月14日（日）
【時間】AM:10：00～11：00
PM:13：00～14：00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】500円
【定員】20名

夏の昆虫観察会
ちはや園地内での昆虫観察
【期間】7月20日（土）
【時間】13：00～15：00
【集合】ちはや星と自然のミュージアム
【料金】500円
【定員】30名

ピアノ演奏と星のお話、星座観察等
ピアノ生演奏とともに夏の星座観察
【期間】7月27日（土）
【時間】19：30～21：00
【集合】金剛登山道駐車場
【料金】700円
【定員】50名

えこっと OSAKA にご意見をお寄せください。

えこっとOSAKA ご意見・ご感想大募集！

ご意見はこちらから　https://goo.gl/aZVbQn

ご家庭や会社で取組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、右のQRコード、または上記のアンケートフォームよりお寄せください。みなさんのご意見・ご感想お待ちしてます！

えこっとOSAKAを購読しませんか?

継続して購読されたい方は、1期（年3回発行）送付分の切手、84円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。

● あて先　〒541－0054　大阪市中央区南本町2－1－8　大阪府地球温暖化防止活動推進センター
お近くの市町村（環境担当部署）、消費生活センター、図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっとOSAKAは、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です

本紙は1部あたり10.2gのCO_2（ライフサイクル）を排出しますが、これを大阪府域において実施された森林吸収（間伐促進型プロジェクト）で創出されたクレジットでオフセットしています。

学生たちの環境活動ノート③

やお環境クラブ 八尾市への環境対策発表会

八尾市環境対策発表会

令和6年2月11日（日）に八尾市役所にて、やお環境クラブによる八尾市に向けた環境対策発表会が行われました。

高校生を中心とした八尾市への環境問題提言を行うこのクラブは昨年8月に本格的に活動を開始し、八尾市に住む学生の生の声を実際の市制に届け、住みよい豊かな街にするために活動を続けています。

今回行われた発表会を迎えるにあたって、メンバーは協議を重ね、提言内容をまとめられました。

当日はアイスブレイクとして自己紹介とともに「今ハマっていること」を話すというざっくばらんな雰囲気の中で発表会は始まりました。

八尾市の4つの課題とは?

最初の発表はタジマ サラさん（住吉高校）から。八尾市が抱える課題として、「自動車の交通量の多さ」「駅と駅との距離の遠さ」「子育て世帯の低下」「健康面の問題」の4つを挙げられました。

八尾市は近鉄八尾駅とJR八尾駅との距離が長く、歩く距離が長くなっているとのこと。もちろん、駅までの交通手段としてバスもありますが、本数も少なく、例として八尾北高校に行く場合、最寄り駅から20分以上かかり、そのうえでバスの本数が少ないのが現状とのことです。そのため、市内の移動に自動車を使い、それに伴う交通事故や渋滞が増加する可能性があります。

子育て世帯が住居環境として考えることのひとつに子どもの通学通園の距離があり、八尾市は子育て世代には若干厳しい環境になっているのではないか、という意見です。

そこで解決策として、「シェアサイクルサービスをもっと使いやすくする」こと。たとえば、定期券や自家発電できる自転車を導入し、定価より安く提供する、広告を増やしたり、シェアサービスを使ったキャンペーンをつくるといったことで、駅と駅の間にある施設などに駐輪ステーションを置く、規模を大きくする、公共施設にステーションを置く、自転車専用道路を整備する、というもので、サイクリングへのハードルを下げていき、健康面の改善にも効果があるのではないかという提言内容です。

ゲーム感覚でもポイ捨てしないきっかけに

次に、セキ ナナミさん（水都国際高校）からの発表。

こちらの課題はごみのポイ捨て。中でも、駅前でのタバコのポイ捨てが多く、景観を損ねているという課題。

タバコのフィルターは、セルロースアセテートというプラスチックの一種が使われており、分解に13年もかかります。また、タバコの吸い殻からは有害な毒素が環境に放出されるうえ、子どもや野生動物が吸い殻を口にする危険性もあります。

もちろんポイ捨てされているのはタバコだけではありませんが、他のごみが散乱していることで罪悪感を感じずにポイ捨てしてしまう、みんながやってるから、とつい捨ててしまう人が多いのではないか、という意見です。

さて、そのタバコのポイ捨てを無くすために提案されたのが「吸い殻入れの設置」。

一見普通の提案に見えますが、セキさんが提案したのは「吸い殻を入れることでアンケートに参加できる投票式吸い殻入れ」。イギリスの環境団体のアイデアで「Ballot Bin」というもの。ただ単に捨てる箱を用意するより、ゲーム感覚ででもポイ捨てをしないよう促すことでごみは減っていくのではないかという提言内容でした。

これからも活動は続きます

今年度のクラブの活動は一区切りとなりますが、来年度も引き続き活動を続けていかれるとのことです。さらに、今回の提案内容の具体化を図り、将来の八尾市政に反映されるよう取り組まれることを期待しています。

「ゼロカーボンシティやお」ポータルサイト

やお環境クラブ https://activo.jp/articles/99745

チームで地域における環境課題を探り、解決策をまとめ、八尾市等に対して発表する場を設け、次年度以降のより具体的な活動につなげます。若者の活動を支援するために大学生などのサポーターが数名参加します。

ゼロカーボンシティやお https://zcc-yao.jp/

「一人ひとりが地球温暖化対策に取り組んでいるまち」の実現に向けて、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」への取り組みをまとめたポータルサイト。市民、企業、行政が行う環境への取組みを紹介しています。